

学科	体験講義（テーマと概要） 2026/8/30 OC
国文 （午前）	奪われた書物たち ―〈発禁本〉の世界 「発禁本」とは、政府や軍、警察をはじめとする権力者から発行を禁止された本のことです。講義ではその貴重な実物を手に取っていただきながら、書物のたどった運命を感じてもらえればと思います。
国文 （午後）	文学作品が語る〈歴史〉―曲亭馬琴の歴史叙述― 日本書紀、平家物語、太閤記―日本の古典文学には〈歴史〉が描かれていますが、そこには史実とは異なる虚構の世界が表現されています。この講義では、曲亭馬琴の長編小説『椿説弓張月』を題材に、文学作品が語る〈歴史〉についてお話します。
史学	ホンモノの古文書から、歴史の常識を疑おう！ 史学科には、江戸時代を中心として、ホンモノの古文書がたくさんあります。そうしたホンモノの古文書に実際に触れながら、中学校や高校の教科書に描かれる「歴史の常識」とは異なる歴史像と一緒に考えていきましょう！
地理	平城・相楽ニュータウンとは？ 戦後の都市を考える上で、「ニュータウン」は非常に重要なものです。この授業では、奈良大学の北側にある平城・相楽ニュータウンを事例に、戦後の都市郊外の変化について考えます。
文化財	文化財でまちを元気にする 文化財は、地域に根差した個性豊かな宝物です。その価値を解き明かすことは、「地域の魅力の発信」にもつながります。そうした取り組みは、現在、全国各地で行われており、そこで中心的な役割を果たしているのが大学で文化財を学んだ方々です。大学での学びが「まちを元気にする」そうした取り組みを紹介します。
心理 （午前）	なぜ、国際的な対立を解決するのが難しいのか？ ウクライナ紛争をはじめ、現在でも世界の様々な場所で国際的な対立が生じています。もちろん、対立の背景はそれぞれ異なるのですが、「なぜ対立が解消されにくいのか」には心理学の知見からもヒントが得られます。「私たち」と「あなたたち」を分断してしまう心のメカニズムについて考えてみましょう。
心理 （午後）	「運の強さ」とは何か？ 一般的によく言う「運が強い」人とはどのような人でしょうか。宝くじなどによく当たる人でしょうか。いわゆる「もってる」人でしょうか。この講義では、心理学の立場からどのような人が「運の強さ」を感じやすいのか、またその「運の強さ」は改善したり、実生活でも生かせるものなのかを探ります。
総合 社会	奈良の大仏さん、つぶすか残すか ―ひとりひとりが選択する文化― 文化財は大切にしなければならない。確かにそうですね。でもなぜなのでしょう。文化財だから大切なのか、大切だから文化財なのか。「大切」ってどういうこと？この授業では文化と文化財の関係を「普通の人々」が過ごす日常の観点から考えます。